



世界をリードする教育研究拠点を目指して

プログラム構成

統合生命科学研究科は、体系的な教育カリキュラムを提供する7つの基盤的な学位プログラムで構成されます。これらの学位プログラムは、理学、工学、農学、医学という従来の学問分野における生物学・生命科学の幅広いスペクトルを、教育効果及び現代社会のニーズの観点から分けたものです。

それぞれ独自の研究キーワードをもちますが、他の学位プログラムといくつかのキーワードを共有しており、互いに相補的、かつ統合的なプログラム群を構成しています。



アドミッション・ポリシー (求める学生像)

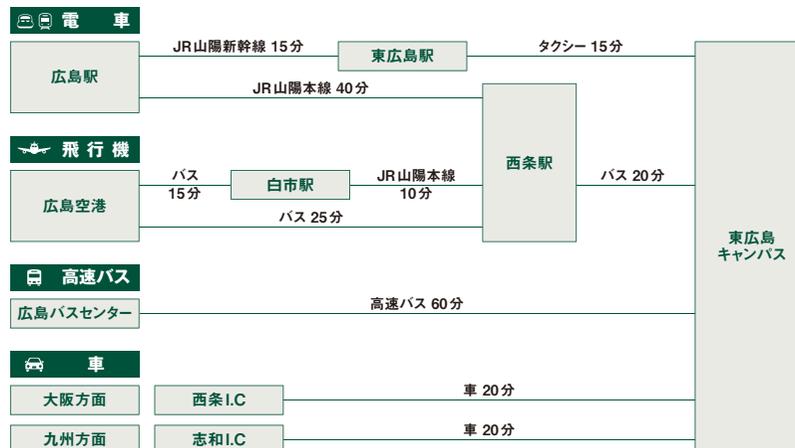


<https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyugaku/policy/ap/101>

統合生命科学研究科・各プログラムのアドミッション・ポリシーは、上記コードを読み込んでいただくと、ご覧になれます。

交通アクセス

主要アクセス



教員の研究内容を知りたい方はこちらから

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/gsbstop/kataru/>

お問い合わせ先

大学院統合生命科学研究科 Graduate School of Integrated Sciences for Life

代表窓口 〒739-8528 広島県東広島市鏡山 1-4-4
TEL: 082-424-7904/FAX: 082-424-2459 (生物学系総括支援室)
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/ilife> E-mail: sei-bucho-sien@office.hiroshima-u.ac.jp

プログラム別連絡先

- 生物工学プログラム
〒739-8530 東広島市鏡山 1-3-1 TEL: 082-424-7004/FAX: 082-424-7000 (理学系支援室 (先端))
- 食品生命科学プログラム/生物資源科学プログラム
〒739-8528 東広島市鏡山 1-4-4 TEL: 082-424-7904/FAX: 082-424-2459 (生物学系総括支援室)
- 生命環境総合科学プログラム
〒739-8521 東広島市鏡山 1-7-1 TEL: 082-424-6306/FAX: 082-424-0751 (総合科学系支援室)
- 基礎生物学プログラム/数理生命科学プログラム/生命医科学プログラム
〒739-8526 東広島市鏡山 1-3-1 TEL: 082-424-7305/FAX: 082-424-0709 (理学系支援室 (理))



広島大学 大学院 統合生命科学研究科

Graduate School of Integrated Sciences for Life

- ◆生物工学プログラム
- ◆食品生命科学プログラム
- ◆生物資源科学プログラム
- ◆生命環境総合科学プログラム
- ◆基礎生物学プログラム
- ◆数理生命科学プログラム
- ◆生命医科学プログラム



カリキュラム

博士課程前期

◆共通科目

幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するとともに、生物学・生命科学関連分野において基盤となる統合的な能力を涵養します。

◆専門科目

各学位プログラムでの専門的な知識・能力を育成します。さらに、異分野理解、学際性涵養のため、他の学位プログラムの授業科目や融合科目を履修するとともに、他研究科や国内外の他大学の授業科目の履修を可能としています。

◆研究指導

研究指導は、異分野理解、学際性涵養のため、主指導教員と主指導教員とは異なる専門領域の教員を含む2人以上の副指導教員との複数指導体制とします。

博士課程後期

◆共通科目

国際人としての幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出能力を育成し、さらに生物学・生命科学関連分野における高い専門性の基盤となる統合的な能力を涵養します。

◆専門科目

各学位プログラムでの専門的な知識・能力を育成します。

◆研究指導

研究指導は、主指導教員と、主指導教員とは異なる専門領域の教員を含む、2人以上の副指導教員との複数指導体制とします。副指導教員は、他研究科の教員や、海外を含む他研究組織の研究者から選出することができます。さらに、異分野理解、学際性涵養のため、副指導教員の所属する研究組織や、最先端研究プロジェクトにおける研究を推奨します。



世界の生命科学を先導する学位プログラム

生物工学プログラム

「生物工学プログラム」では、「バイオと物質科学の融合」による新たな知を創造し、環境保全・環境修復、グリーンエネルギー、健康・長寿など様々な社会的要請を実現するバイオテクノロジー分野のイノベーションの加速化を目指します。このプログラムでは、微生物から高等生物までを含む様々な生物の分子・代謝機能を解明するとともに、異分野との協働の可能性を含めて、その機能を工学的視点から総合的かつ俯瞰的にとらえることにより、グローバル規模での多様な社会的要請に対して柔軟に対応し、迅速な産業応用を可能とする高度職業人を育成します。



食品生命科学プログラム

安全性と機能性に優れた食品を開発するためには、食品科学をはじめ、分子生物学から環境科学に至るまでの基礎および応用生命科学を融合的かつ俯瞰的に理解することが必要です。また食品の高付加価値化を図るとともに、生物圏環境を見据えた食料の安定的かつ持続的な供給を目指すには、食資源を分子・細胞・個体・集団の視点から多角的に捉えることが求められます。「食品生命科学プログラム」では、食品科学・応用生命科学の学問分野をコアとして教育・研究を推進することで、食品開発や人間生活に応用される農業、有用生物の機能解明や開発・生産管理等の分野で貢献できる人材を育成します。



生物資源科学プログラム

「生物資源科学プログラム」では、動植物科学と水産海洋学の学問分野をコアとした教育・研究を行います。生物資源である産業動物、植物、そして水域生物は、食料資源として人間生活に必須です。生物資源を持続的に生産するには陸域と水域の生物資源群の相互関係を総合的に理解し、生物圏における多様性と環境調和を維持しなければなりません。本プログラムでは、生物圏を俯瞰した生物資源の機能開発、生産機構の解明、先進技術の開発に係る教育・研究を行い、品質と安全性に優れた食資源の増産および安定的な供給や、自然環境と人間生活の豊かさを向上させるための生物資源の応用等の分野で貢献できる人材を育成します。



生命環境総合科学プログラム

「生命環境総合科学プログラム」では、分子レベルから環境・生態までの広い基礎分野と、応用分野としての農学を包含した生命系科学全般への教育を展開するとともに、分野横断型プログラムとして、生命科学の枠を越えた文理融合、学際的な教育・研究を展開します。そして、マイクロ系（分子、ゲノム）、複雑系（脳、共生）、マクロ系（生態、地球表層圏）にわたるバランスの良い教育と、その中の一分野の深い教育・研究、さらに医学、農学、生命工学等の応用分野や社会実装の視点とセンスを涵養することで、総合的・融合的な視野と高い専門性と研究能力を併せ持つ研究者、教育者、分野を超えたリーダーを育成します。



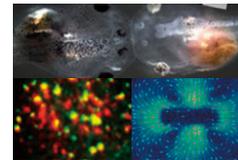
基礎生物学プログラム

「基礎生物学プログラム」では、種々の培養細胞やモデル生物、あるいは自然界に自生する動植物を対象にして、ゲノム情報・ゲノム編集・1細胞イメージング・ナノ/マイクロ技術などの最新手法を用いて、生物学の根本的課題の解明をめざす様々な教育・研究が行われており、成果の一部は、すでに医学界・産業界に応用されています。このような経歴を持つ教員陣からなるプログラムでは、学生は生命の謎を解き明かす研究の最前線に加わることができます。これにより、生物学だけでなく幅広い分野の基礎研究から応用研究までシームレスに対応できる人材を育成します。



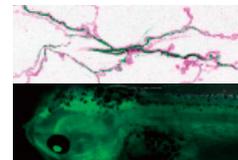
数理生命科学プログラム

最近の計算科学・データ科学の発展とその諸科学分野への全方面的展開、および生命科学における定量的計測技術の進歩によって、数理科学との協働は生命科学諸分野の研究遂行に不可欠となりつつあります。「数理生命科学プログラム」では、生命・分子・数理科学における幅広い学識と高度な専門性を基に、さらにそれらを融合することにより、新しい学問領域の創成とその教育・研究を旨とします。基礎と応用を包含する幅広い生命科学諸分野と連携することで、世界に類を見ない生命科学の展開を目指し、生命現象を支配する原理を普遍的かつ解析的に捉えることのできる人材を育成します。



生命医科学プログラム

超高齢社会を迎えた我が国において、高度先進医療の更なる充実と発展に対する期待は益々高まっています。同時に、基礎生命科学の進展も目覚ましく、それら知見・発見のいち早い臨床応用が求められています。「生命医科学プログラム」では、広島大学の多様な生命科学系・医療科学系教員を結集し、医療科学の現場を意識した基礎生命科学教育を行います。これにより、基礎生命科学から医療科学に渡る広範な生物・生命系研究領域および関連産業分野の知識と研究実践力を習得し、社会的要請に柔軟に対応できる人材を育成します。



入学試験情報

博士課程前期		4月入学及び10月入学		
推薦入試A (4月入学のみ)	推薦入試B	一般入試	社会人特別入試	外国人特別選抜
博士課程後期		4月入学及び10月入学		
一般入試	社会人特別入試	外国人特別選抜		

詳しくは、統合生命科学研究所HPをご覧ください。
https://www.hiroshima-u.ac.jp/ilife/nyuusi_admission

